



2022年11月11日

各位

会社名 株式会社 イメージ ワン  
代表者名 代表取締役社長 島岡 潤  
(コード番号 2667 東証スタンダード)  
問合せ先 執行役員管理部長 大野 雅弘  
(TEL 03 - 5719 -2180)

通期業績予想の修正、営業外費用の計上及び  
連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、2022年11月11日開催の取締役会において、以下のとおり、2021年11月12日に公表しました2022年9月期(2021年10月1日～2022年9月30日)の業績予想の修正および、2022年9月期第3四半期より連結決算を開始しており、同期間の予算について決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正(2021年10月1日～2022年9月30日) (非連結)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	3,100	100	90	30	3.30
今回修正予想(B)	3,431	△255	△276	△330	△32.27
増減額(B-A)	331	△355	△366	△360	—
増減率(%)	10.7%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年9月期)	2,435	△331	△413	△503	△55.44

2. 修正の理由

売上高については、地球環境ソリューション事業において、新設した ESG 事業は堅調に推移したものの、エネルギー事業は太陽光発電所のセカンダリーマーケットでの売買が進まず予算を大きく下回る結果となりました。一方、主力事業であるヘルスケアソリューション事業において、メディカルシステム部門の主力である『i-HIS』(クラウド型電子カルテ)は、同業他社との競合が激しく受注が伸びなかったため、予算を下回る結果となりましたが、メディカルサプライ部門のPCR検出試薬、抗原検査キット等の体外診断用医薬品が、新型コロナウイルス感染の第七波の到来による需要の増加により、販売が好調に推移したことから、予算を大幅に上回る結果となりました。通期の売上高は業績予想比 331 百万円増加の 3,431 百万円を計上しました。

営業利益については、地球環境ソリューション事業において、太陽光発電所の売買にて利益率の低い大型案件が発生しており想定以上に原価費用を計上しております。またメディカルサプライ部門の体外診断用医薬品の需要急増を取込むための販売手数料、業務委託費等の外注費が増加した他、期初業績予想として計上していませんでした本社の移転費用、およびホームページを一新したことによる制作費用等により販売管理費が増加したことで、売上高増加による売上高総利益増加分で補填することができず、業績予想を下回る結果となりました。

経常利益については、期初業績予想として計上していませんでした第三者割当による株式交付費 6 百万円及び新株予約権発行費 11 百万円を営業外費用として計上したことで、業績予想を下回る結果となりました。

3. 営業外費用の計上について  
上記2. 修正の理由をご参照ください。

4. 2022年9月期業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）（連結）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
2022年9月期	3,431	△264	△316	△341	△33.30

(注) 上記の予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によってこれらの予想数値と異なる可能性があります。

以 上